User's Manual

DXA120 DAQSTANDARD DX-P ハードウエア設定 ユーザーズマニュアル



# ユーザー登録のお願い

ご購入いただいた製品情報の確認や関連資料のダウンロード、メールニュースなどの様々なサービスをご利用いただけます。

会員サイト(Customer Portal) https://myportal.yokogawa.com/

# 計測相談のご案内

当社では、お客様に正しい計測をしていただけるよう、レコーダ・データロガー製品に関する、仕様、機種のご選定、応用上の問題などのご相談を下記CSセンターで承っています。

価格、納期などの販売についての内容は、最寄りの営業・代理店へお問い合わせください。

●お問い合わせ:横河電機株式会社 カスタマサポートセンター



フリーダイヤル受付時間 9:00~17:00 (12:00~13:00を除く) 月~金曜日(祝・祭日、弊社指定休日を除く)

# はじめに

このマニュアルは、DX-P ハードウエア設定ソフトウエアの使用方法について説明したものです。ご使用前にこのマニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。

# ご注意

- 本ソフトウエアは、スタイルナンバーが「S4」より以前の DX100P/DX200P とは接続できません。
- 本書の内容は、性能・機能の向上などにより将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審の点や誤りなどお気づきの ことがありましたら、お手数ですが、当社支社・支店・営業所までご連絡ください。
- 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。
- 当社は、ソフトウエアの使用に関して直接または間接に生じるいっさいの損傷について責任を負いません。
- ●ソフトウェアをインストールする前に、PC のウィルスチェックをおこない、ウィルスに感染していないことをご確認ください。
- 「Administrator」権限で Windows にログインしてください。

# 商標

- DAQSTATION、Daqstation、DXAdvanced、および MVAdvanced は、当社の登録商標です。
- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社) の登録商標または商標です。
- 本書に記載している製品名および会社名は、各社の登録商標または商標です。
- 本書では各社の登録商標または商標に、® および ™ マークを表示していません。

# 履歴

2010年3月 初版発行 2010年6月 2版発行 2010年11月3版発行 2014年1月4版発行 2017年7月5版発行 2022年11月6版発行

# ソフトウエア使用許諾契約書

# で使用前に必ずお読みください。

このたびは横河電機株式会社のソフトウエアをお求めいただきまして誠にありがとうございます。お客様が同ソフトウエアをインストールした場合には、下記の「ソフトウエア使用許諾契約書」に同意したものとみなします。横河ソフトウエアは当社の著作物であり、同ソフトウエアをインストールし、ご使用されるにあたっては、下記の「ソフトウエア使用許諾契約書」を必ずお読みのうえ、ご承諾いただくようお願いします。ご承諾いただけない場合には、インストールおよび使用は行わない でください。

# ソフトウエア使用許諾契約書

お客様が本ソフトウエア使用許諾契約書(以下、「本契約」といいます)に合意することを条件として、横河電機株式会社(以下、「当社」といいます)は、第1条に記載 するソフトウエア製品(以下、「横河ソフトウエア」といいます)の使用権をお客様に許諾します。

TR(過四報制型) 本契約は、当社がお客様に提供する下記記載の横河ソフトウェア(使用に関連して提供される当社指定の資料を含む)に適用するものとします。なお、横河ソフトウェアの変更または追加がなされた場合、当該変更または追加ソフトウェアについても本契約が適用されるものとします。 対象製品:DAQSTANDARD(Model DXA120)

#### 第2条(使用権の許諾)

- 当社は、お客様に対し、横河ソフトウェアについて、お客様の自己使用を目的とした、非独占的かつ譲渡不能の使用権(以下「使用権」といいます)を無償で許諾します。 当社は、お客様に対し、横河ソフトウェアについて、お客様の自己使用を目的とした、非独占的かつ譲渡不能の使用権(以下「使用権」といいます)を無償で許諾します。
   横河ソフトウエアは、当社が自ら知的財産権等の権利を有し、または当社が第三者から使用許諾を含む)を受けているものです(以下、当該第三者が有するソフトウエアプログラムを「第三者プログラム」といい、当社の関連会社が独自に製作・販売しているソフトウエアプログラムもこれに含みます)。お客様は、横河ソフトウエアを第三者に頒布、転貸、譲渡、質入、伝送もしくは再使用権を許諾しないものとします。
   お客様は、必要なパックアップ用として複製する以外は、横河ソフトウエアの全部または一部を複製しないものとします。また当該複製物の保管および管理については厳重な注意を払うものとします。
   お客様は、いかなる理由においても横河ソフトウエアをダンプ、逆アッセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングなどによるソースプログラムその他人間が読み取り可能な形式への変換もしくは複製または横河ソフトウエアの修正もしくは他の言語への翻訳など、提供された形式以外に改変しないものとします。また、当社は、別に同意しない限り、お客様にソースプログラムを提供しないものとします。
   横河ソフトウエアおよびそれらに含まれる一切の技術、アルゴリズムおよびプロセス、その他のノウハウは、当社または当社に対し再使用許諾を含む使用許諾権を付与している第三者の固有財産であり、お客様に権利の移転や譲渡を一切行うものではありません。
   当社は、横河ソフトウエアに保護の機構(コピープロテクト)を使用または付加することがあります。当該コピープロテクトを除去し、または除去を試みることは認められないものとします。
   横河ソフトウエアには、第三者プログラムを含む場合があります。かかる第三者プログラムに関し、当社が当該第三者より本契約と異なる再使用許諾条件を受け入れ

- 7. 横河ソフトウエアには、第三者プログラムを含む場合があります。かかる第三者プログラムに関し、当社が当該第三者より本契約と異なる再使用許諾条件を受け入れている場合には、別途書面により通知される当該条件を遵守していただきます。

#### 第3条(特定用途に関する制限)

- 第3条(特定用途に関する制限)
  1. 横河ソフトウエアは、下記の各号を目的として、製作または頒布されるものではありません。
  (a) 航空機の運行もしくは船舶の航行またはされらを地上でサポートする機器の立案、設計、開発、保守、運用および使用されること。
  (b) 原子力施設または放射線機器の立案、設計、開発、建設、保守、運用および使用されること。
  (c) 核兵器、化学兵器、生物兵器または鉄道施設の立案、設計、開発、保守、運用および使用されること。
  (d) 医療機器などの人身に直接関わるような状況下で使用されることを目的に立来、設計、開発、保守、運用および使用されること。
  (d) 医療機器などの人身に直接関わるような状況下で使用されることを目的に立来、設計、開発、保守、運用および使用されること。
  2. お客様が前項の目的で横河ソフトウエアを使用する場合には、当社は当該使用により発生するいかなる請求および損害に対しても一切責任を負わないものとし、お客様は、お客様の責任と費用においてこれを解決するものとし、当社を免責するものとします。

- 正確性、信頼性もしくは最新性などの品質上または性能上の明示または黙示の保証をするものではありません。また、横河ソフトウエアが他のソフトウエアとの間で不整合、相互干渉などの影響のないことを保証するものでもありません。
  2. 前項の規定に関わらず、横河ソフトウエアに第三者プログラムが存在する場合の保証期間および保証条件については、かかるプログラムの供給者の定めるところによ
- るものとします。
- っもいっこします。
  3. 当社は、自己の判断により必要と認めた場合、横河ソフトウェアに関するリリースアップ(以下、「リリースアップ」といいます)を実施することがあります。
  4. 前項の定めにも拘らず、当社は、いかなる場合であってもお客様により改変または修正された横河ソフトウェアに関するリリースアップについては、第三者により改変・修正された場合を含め、一切対応しないものとします。
  第5条(特許権、著作権の侵害に関する対害賠償責任)

- 1. お客様は、横河ソフトウエアについて、第三者から特許権、商標権、著作権その他の権利に基づき使用の差し止め、損害賠償請求などが行われた場合は、書面にて速やかに請求の内容を当社に通知するものとします。 2. 前項の請求などが当社の責に帰すべき事由による場合は、その防御および和解交渉について、お客様から当社に防御、交渉に必要なすべての権限を与えていただき、かつ必要な情報および援助をいただくことを条件に、当社は自己の費用負担で当該請求などの防御および交渉を行い、前項記載の第三者に対して最終的に認められた 責任を負うものとします。
- 3. 当社は第1項における請求またはその恐れがあると判断した場合は、当社の選択により、当社の費用で下記のいずれかの処置を取るものとします。
- 3. 当任は毎1 4月にあげつ6前水まだはその恋れがめると判断した場合は、当社の選択により、当社の資用で下記のいずれがの処置を収るものとします。
   (a) 正当な権利を有する者からかかる横河ソフトウェアの使用を継続する権利を取得する。
   (b) 第三者の権利の侵害を回避できるようなソフトウェア製品と交換する。
   (c) 第三者の権利を侵害しないようにかかる横河ソフトウエアを改造する。
   4. 前各号のいずれの処置も取れない場合、当社は本契約を解除することができるものとしますが、本契約の解除の有無を問わず、当社は、本条に定める当社の責任を除いて、お客様に対していかなる契約上または不法行為上の法的責任も負わないものとします。
   第6条(責任の制限)
   本契約はまずいア当とはおおりを構造するとは、まずの場合は、まずいます。

0条(貝性の制限) 本契約に基づいて当社がお客様に提供した横河ソフトウエアによって、当社の責に帰すべき事由によりお客様が損害を被った場合、当社は、本契約の規定に従って対 応するものとしますが、いかなる場合においても、お客様に対していかなる契約上または不法行為上の損害賠償に関する法的責任も一切負わないものとします。なお、 当社が納入した横河ソフトウェアをお客様が当社の書面による事前の承諾なく改造、改変、他のソフトウエアとの結合を行い、またはその他当社の一般仕様書、基本 仕様書、機能仕様書もしくはマニュアルとの相違を生ぜしめた場合も同様です。

#### 第7条(輸出規制)

ネストの (1977年) お客様は、事前に当社の同意を得た場合を除き、横河ソフトウエアおよび関連資料を、直接、間接を問わず輸出または他国に伝送しないものとします。 第8条 (本契約の期間)

8条( 卒关約の期間) 本契約は、お客様が横河ソフトウエアを受領した日から、契約解除されない限り、お客様または当社が相手方に対し、1ヶ月前に書面による通知によって当該ソフト ウエア製品の使用を終了させるまで、またはお客様の横河ソフトウエアの使用終了時まで、有効とします。本契約が終了し、または解除された場合には、お客様は、 横河ソフトウエア、関連資料およびこれらの複製物・抽出物をすべて消去し、破棄・処分するものとします。但し、横河から別途指示があった場合には、それらを横 河または横河の指定する第三者に返却するものとします。

第9条(使用の差止め) 横河ソフトウエアの使用許諾後といえども、使用環境の変化または許諾時には見出せなかった不適切な環境条件が見られる場合、その他横河ソフトウエアを使用する に著しく不適切であると当社が判断した場合には、当社はお客様に対して当該使用を差止めることができるものとします。 第10条(解除)

当社は、お客様が本契約に違反した場合には、何ら催告を要することなく通知をもって本契約を解除できます。ただし、本契約終了または解除後といえども第5条、

第6条ならびに第11条は効力を有するものとします。 第1条ならびに第11条は効力を有するものとします。 第11条(管轄裁判所) 本契約に関して生じた紛争、疑義については、両者誠意を持って協議解決するものとします。ただし、一方当事者が他方当事者に協議解決をしたい旨の通知後90日 以内に両当事者間で協議が整わない場合は東京地方裁判所(本庁)を第一審の専属的管轄裁判所とします。

以上

# このマニュアルの利用方法

# このマニュアルの構成

このマニュアルの構成は、以下に示す第1章~第3章および索引で構成されています。

章	タイトル	内容
1	ご使用になる前に	DAQSTANDARD の概要と、DAQSTANDARD を使用するときに 必要な PC 環境について説明しています。
2	設定データの確認と作成	DX100P/DX200P の設定データを表示して確認する操作、新たな設定データを作成する操作について説明しています。
3	設定データの送信と受信	イーサネットインタフェースで DX100P/DX200P と接続し、設定データを送受信する方法について説明しています。
4	トラブルシューティング	エラーメッセージの一覧とその対処方法について説明しています。
索引		五十音、アルファベット順の2つの索引があります。

# このマニュアルにおける説明の範囲

本マニュアルでは、オペレーティングシステムの基本的な操作については説明していません。オペレーティングシステムの基本的な操作は、Windows のユーザーズガイドなどをお読みください。

# このマニュアルで使用している記号

●単位

K「1024」の意味です。使用例:100KB

● メニュー、コマンド、ダイアログボックス、ボタンの表記 すべて [] で囲んで表記しています。

#### ● 注記

**Note** 操作をするうえで、知っていると便利な情報が記載されています。

# 画像について

本書に掲載されている画像が、操作説明に影響のない範囲で実際のソフトウエアの画像と異なる場合があります。

# このマニュアルが対象としている製品

本書の説明の中で使用している「DX100P」、「DX200P」は、これらの機種を意味します。

本書での記述	機種
DX100P	DX102P、DX104P、DX106P、および DX112P のリリースナンバー 4 以降
DX200P	DX204P、DX208P、DX210P、DX220P、および DX230P のリリースナンバー 4 以降

# 改版の履歴

版数	追加/変更機能
1	新規発行。
2	動作環境変更 (Windows 7 対応 )。記述改善。
3	動作環境変更 (Windows XP SP2 対応終了 )。
4	動作環境変更 (Windows 2000 対応終了、Windows 8 対応 )。
5	ライセンス削除
	動作環境変更(Windows XP、Windows Vista 対応終了)
6	動作環境変更 (Windows 11 対応、Windows Enterprise エディション対応、Windows 7 削除 )。
	DAQSTANDARD R9.05.03 のバージョン構成は、以下の通りです。
	- インストーラバージョン R9.05.03(Windows の「プログラムと機能」にて確認可能)
	- 各ソフトウェアのバージョン情報 R9.05.02

# 目次

	はじぬ	かに	i
	ソフト	- ウエア使用許諾契約書	ii
		・・・・	
第1章	ご使用	になる前に	
712 · —	1.1	DAQSTANDARD の概要	1-1
		DAQSTANDARD を構成するソフトウエア	
		DX-P ハードウェア設定ソフトウェアについて	
		データの管理方法について	
	1.2	必要な PC システム環境	
		オペレーティングシステム	
第2章	設定デ	ータの確認と作成	
	2.1	設定データを確認する	2-1
	2.2	設定データを作成する	
	2.3	測定チャネルを設定する	
	2.5	入力の種類 (モード、レンジ / タイプ ) とスパン (スパン U、スパン L)	
		差演算 / スケーリング / 開平演算	
		アラーム	
		フィルタ / 移動平均	
		タグ	
		ゾーン	
		グラフ	
		部分圧縮拡大	
		表示色	2-9
		設定内容のコピー/貼り付け	
		チャネルごとの設定	2-10
	2.4	演算チャネルを設定する (オプション、/M1)	2-11
	2.5	設定関連を設定する	2-14
		画面表示	
		メッセージ / ファイル	
		グループ / トリップライン	
		画面グループ設定 (DX200P のみ )	2-16
		USER =	2-17
		バッチ設定	2-18
		入力値補正 (オプション、/CC1)	2-18
	2.6	システムモードを設定する	2-19
		アラーム / リレー / リモート	2-19
		測定周期 / メモリサンプル	2-20
		チャネル ( バーンアウトと RJC の設定 )	2-21
		アプリケーション	
		タイマ (オプション、/M1)	
		レポート ( 時報 / 日報 / 週報 / 月報の作成、オプション、/M1)	
		タイムゾーン / システムリレー / その他の設定	2-24
		メモリサンプル中変更	
		ネットワーク	
	2.7	設定データの整合をとる ( データチェックをする )	2-33
	2.8	設定データを保存する	2-34
	2.9	設定データを印刷する	2-35
	2 10	使田可能た文字	2-36

IM 04L41B01-65JA

3

1

索

第3章	設定デー	ータの受信と送信	
	3.1	DXP との接続について	3-1
		受信時と送信時の注意	3-1
		パスワード	3-1
	3.2	DXP から設定データを受信する	3-2
	3.3	DXP に設定データを送信する	3-3
第4章	トラブル	ルシューティング	
	4.1	各種メッセージと対処方法	4-1
		エラーリスト	
		ワーニングリスト	4-2
		メッカージリスト	4-7

索引

vi IM 04L41B01-65JA

1

# 1.1 DAQSTANDARD の概要

# DAQSTANDARD を構成するソフトウエア

DAQSTANDARD は、次の3つのソフトウエアで構成されています。

- ・ビューア
- ・ ハードウエア設定
- ・ DX-P ハードウエア設定

#### ●ビューア

記録計が生成した測定データを波形表示やディジタル値表示したり、印刷することができます。

#### ● ハードウエア設定

記録計の設定データを作成するためのソフトウエアです。作成した設定ファイルを記録計に送信したり、記憶メディアに保存することができます。対象機種は、DX1000/DX1000N/DX2000、DX100/DX200、CX1000/CX2000、MV1000/MV2000、MV100/MV200 です。

#### ● DX-P ハードウエア設定

記録計 DX100P/DX200P の設定データを作成するためのソフトウエアです。作成した設定ファイルを記録計に送信したり、記憶メディアに保存することができます。

### DX-P ハードウエア設定ソフトウエアについて

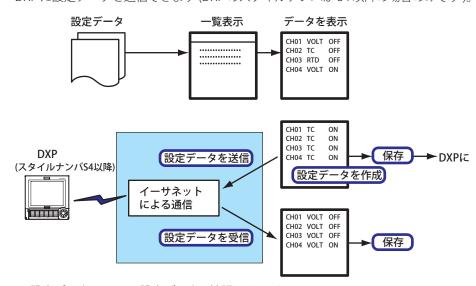
# 設定データの確認

設定データを表示して確認できます。

#### 設定データの作成

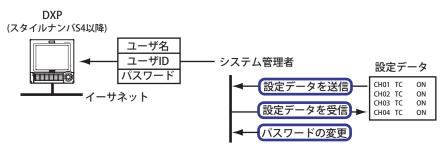
オープンした設定データを編集して新たな設定データを作成できます。**ただし、ログイン情報とバッチ・システム設定の設定データは作成できません**。

- 新たな設定データを作成できます。
- ・ オープンした設定データのシステム構成 (測定チャネル数やオプションなど)を変更 して設定データを作成することもできます。
- ・ DX200P の場合、「4 画面」の画面割り付けと画面名も設定できます。
- 通信で、DX100P/DX200P(以下、DXPと呼びます)の設定データを読み込めます。また、 DXPに設定データを送信できます(DXPのスタイルナンバがS4以降の場合のみです)。



設定データ:DXPの設定データ(拡張子は.ppl)。

#### 接続(ログイン)条件



- ・ DXP に登録されているシステム管理者のみがログインできます。ユーザ名、ユーザ ID、およびパスワードでシステム管理者を確認します。
- DXP のキー操作によりログインしているユーザがいるとき、または通信経由で設定/測定サーバのセッティング機能にログインしているユーザがいるときは、接続できません。
- ・ すでに接続しているユーザと、同じユーザ名で接続できません。

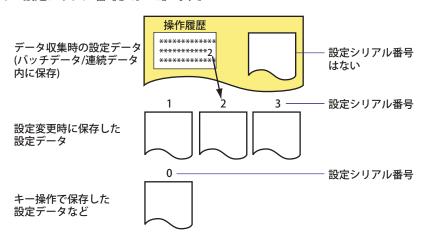
#### 設定データの送受信

DXP の設定データを読み出すことができます。ログイン情報、バッチ・システム設定の内容は参照できません。

DXP に設定データを送信できます。[ログイン情報]、[バッチ・システム設定]、[IP アドレス指定]の内容は送信されません。

# データの管理方法について

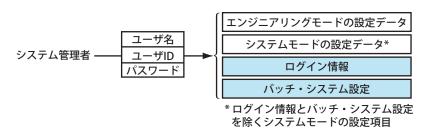
設定データには、発生順に「設定シリアル番号」が付けられています。この番号は、設定変更の操作履歴とともに、バッチデータ/連続データ内に記録されています。DX-Pハードウエア設定ソフトウエアで保存した設定データおよび通信機能で受信した設定データの「設定シリアル番号」は「0」です。



1-2 IM 04L41B01-65JA

# ログイン情報、バッチ・システム設定の内容の参照

データ収集したときに登録されていたシステム管理者のみが、そのデータのログイン情報、バッチ・システム設定の内容を含む設定データを参照できます。ユーザ名、ユーザID、およびパスワードでシステム管理者を確認します。



- ・ ログイン情報:システム管理者と一般ユーザの登録内容。
- ・ バッチ・システム設定:ログイン機能、サインイン機能の設定内容。

### ユーザ無効

パスワード入力を要求されたときに、3回連続して、誤ったパスワードを入力して操作するとユーザ無効となります。そのユーザは、以後、そのバッチデータや連続データにサインできません。また、設定データのログイン情報、バッチ・システム設定の内容を参照できません。

# 1.2 必要な PC システム環境

# ハードウエア

### ● パーソナルコンピュータ本体

Windows 8.1、Windows 10、または Windows 11 が動作する機種

#### ● CPU と主記憶容量

Windows 8.1、Windows 10 の場合

Core2 Duo E6300 以上の Intel 社製 x64 または x86 プロセッサ。2GB 以上のメモリ。 Windows 11 の場合

Core i5以上、かつ、第8世代以降のIntel 社製プロセッサ。8GB以上のメモリ。

#### ●ハードディスク

Windows 8.1、Windows 10 の場合

空き容量が 100MB 以上 (データ量により、これ以上必要な場合があります。) Windows 11 の場合

空き容量が 64GB 以上 (データ量により、これ以上必要な場合があります。)

#### ●マウス

OS に対応したマウス。

#### ●ディスプレイ

OSが推奨するビデオカードとOSに対応した 1024 x 768 ドット以上、65,536 色 (16bit、 High Color) 以上のディスプレイ。

#### ●通信ボード

RS-232 で通信を行う場合は、Windows がサポートする COM ポート (COM1、COM2、COM3、COM4) を使用してください。

RS-422/RS-485 で通信を行う場合は、RS-232 ポートにコンバータを接続してください。 イーサネット (Ethernet) で通信を行う場合は、Windows がサポートする Ethernet カードが必要です。また、TCP/IP プロトコルがインストールされていることが必要です。

#### ●プリンタ

使用する Windows システムで使用可能なプリンタ。使用する Windows システムに対応するプリンタドライバが必要です。

# オペレーティングシステム

OS	バージョン	更新バージョン
Windows 8.1	(32 ビット版、64 ビット版)(デスクトップモードに対応)	Update
	Pro (32 ビット版、64 ビット版) (デスクトップモードに対応)	Update
Windows 10	Home(32 ビット版、64 ビット版)	21H2
	Pro(32 ビット版、64 ビット版)	21H2
	Enterprise(32 ビット版、64 ビット版)	21H2
	Enterprise LTSB(32 ビット版、64 ビット版)	21H2
	Enterprise LTSC(32 ビット版、64 ビット版)	21H2
Windows 11	Home(64 ビット版)	21H2
	Pro (64 ビット版)	21H2
	Enterprise(64 ビット版)	21H2

### Note -

- タイムゾーンの設定は Windows[ コントロールパネル] の [ 日付と時刻 ] で行ってください。
- 夏時間が存在する場合は、[自動的に夏時間の調整をする]を ON にしてで使用ください。
- ・ Windows の autoexec.bat によるタイムゾーン設定は使用しないでください。 autoexec.bat に "TZ=GTM0" などの設定がある場合には、動作しないように REM コマンドを付けてください。
- ・ 本ソフトウエアは 2038 年以降のデータを扱えません。
- ・ パーソナルコンピュータに MS ゴシックフォントがインストールされている必要があります。

1-4 IM 04L41B01-65JA

# 2.1 設定データを確認する

# DX-P ハードウエア設定ソフトウエアの起動

スタートメニューの [ **すべてのプログラム** ]-[DAQSTANDARD]-[DX-P ハードウエア設定 ] を選択します。 DX-P ハードウエア設定ソフトウエアは、ビューアソフトウエアからも 起動できます。 ログイン情報を表示する操作を行ったときは、ログイン情報とバッチ・システム設定 (システムモードタブ内) も表示されます。



# DX-P ハードウェア設定ソフトウェアの終了機能の設定

メニューバーの [ ファイル ]-[ 終了 ] を選択するか、[ × ] をクリックします。DX-P ハードウエア設定ソフトウエアが終了します。

設定データを編集 (2.2 節以降を参照) したときは、次のように操作します。

- **1.** メニューバーの [ファイル]-[終了] を選択するか、[×]をクリックします。 「NewFile への変更を保存しますか」とメッセージが表示されます。
- 2. 設定データを保存するときは、[はい]をクリックします。 [名前を付けて保存]のダイアログボックスが表示されます(2.8 節を参照)。操作手順3に 進みます。

設定データを保存しないときは、[いいえ]をクリックします。 DX-P ハードウエア設定ソフトウエアが終了します。

**3.** 保存場所とファイル名を設定し、[保存]をクリックします。 DX-P ハードウエア設定ソフトウエアが終了します。

# 設定データの確認



ログイン情報については次ページをご覧ください。その他の内容については、2.3 節 $\sim 2.6$  節の説明をご覧ください。

# ファイル情報の確認



# システム構成の確認



**2-2** IM 04L41B01-65JA

# ログイン情報、バッチシステム設定の確認

ログイン情報、バッチ・システム設定以外の内容を確認するする場合は、2.2 節以降を 参照してください。

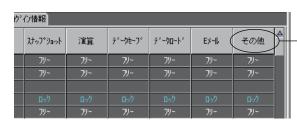
### ログイン情報の確認



一般ユーザ



└── フリー:操作許可 ロック:操作禁止



- \_下記の操作
- ・ログを表示する
- 記憶メディアのファイル一覧を表示する
- ・FTPテストをする
- •Modbus状態画面を表示する
- ・4画面に名前を付ける(DX200Pのみ)

#### ログインモード

[サインイン権限]、[キー動作]~[その他]の設定内容です。

#### バッチ・システム設定の確認

- 2.ここをクリック([設定]-[システムモード]からも選択可能)



# ・ ログイン時ユーザ ID を使用

ログインするとき、ユーザIDを入力することが要求されます。

#### ・ 自動ログアウト

設定されている時間キー操作がないと、自動的にログアウトします。[OFF] が設定されている場合は、ログアウトの操作をしない限りログアウトしません。

#### ・ ログアウト時画面変更

[ON] が設定されている場合は、ログインしないで運転画面を切り替える操作ができます。

#### ・ サインイン機能を使用

データにサインする機能を使用します。

#### ・ バッチストップ時サインイン

サインイン権限のあるユーザがデータ収集をストップしたときに、自動的にサインイン専用画面を表示します。ただし、1 バッチのデータが複数のファイルに分割された場合は無効です。

#### ・サインイン時ユーザ ID

サインするとき、ユーザ ID を入力することが要求されます。

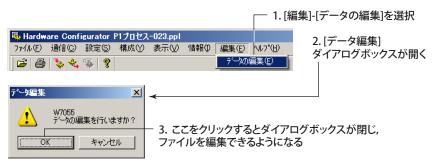
**2-4** IM 04L41B01-65JA

# 2.2 設定データを作成する

新たな設定データ(ログイン情報、バッチ・システム設定を除く)を作成する操作です。

# 編集の開始

下記の操作で、表示している設定データを編集できるようになります。



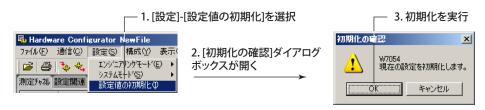
### Note

編集を開始する操作をすると、ログイン情報、バッチ・システム設定は表示されません。

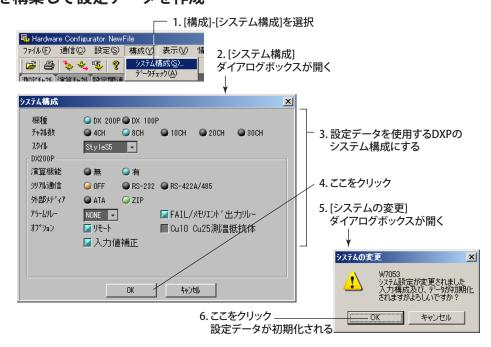
システム構成を変更せずに設定データを初期化する場合は、「設定データの初期化」へ、システム構成を変更する場合は、「新たにシステムを構築して設定データを作成」に進みます。

# 設定データの初期化

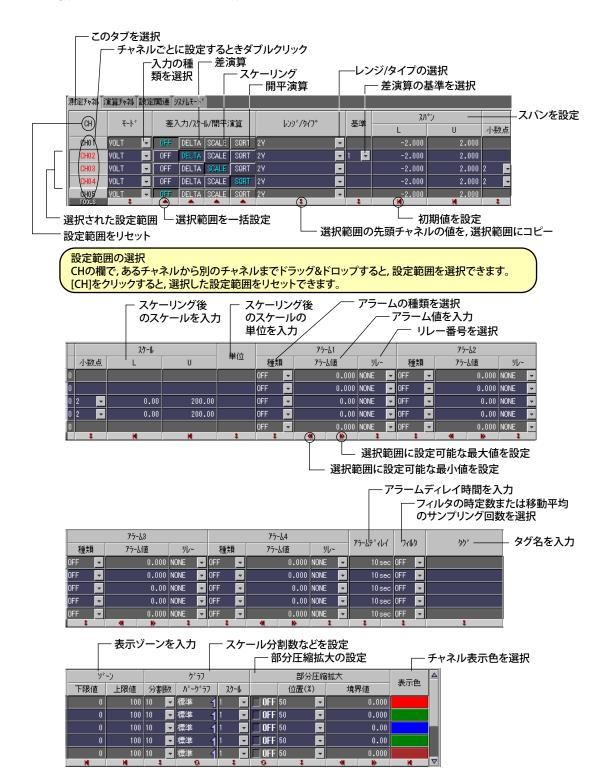
システム構成を変えずに設定データだけを初期化するときの操作です。



# 新たにシステムを構築して設定データを作成



# 2.3 測定チャネルを設定する



**2-6** IM 04L41B01-65JA

# 入力の種類(モード、レンジ/タイプ)とスパン(スパン U、スパン L)

# モード、レンジ/タイプ

プルダウンメニュー(下表)から選択します。

		<del></del>
入力種類	モード	レンジタイプ
電圧	VOLT	20mV、60mV、200mV、2V、6V、20V、50V
熱電対	TC	Type R、S、B、E、K、J、T、N、W、L、U
測温抵抗体	RTD	Pt100、JPt100、Cu10*、Cu25*
電圧レベル / 接点入力	DI	LEVEL(電圧入力)、CONT(接点入力)
測定 / 表示 OFF	SKIP	なし こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしゅう しゅう

#### \* オプション機能 (/N1) です。

### Note.

SKIP を選択したときは、差入力 / スケール / 開平演算やレンジ / タイプなどの項目の設定が無効になります。

#### スパン(スパンU、スパンL)

測定値の表示スパンを設定します。

スパン L とスパン U を同じ値に設定したり、設定範囲外の値を入力したときは、データチェック時に修正されます。



# 差演算/スケーリング/開平演算

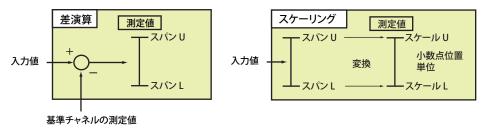
差演算:基準チャネルとの入力の差を表示します。

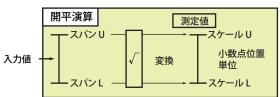
# Note

差演算を設定したチャネルと、基準チャネルの[モード]、[レンジ/タイプ]、小数点位置、または単位が異なっていても、差演算は実行されます。演算結果の小数点位置は、差演算を設定したチャネルの小数点位置になります。

スケーリング:入力値を目的にあった単位を持つ数値に変換して表示します。

**開平演算**:入力値の平方根を演算し、演算結果を目的にあった単位を持つ数値に変換して表示します。開平演算は、モードが [VOLT] のときのみ設定できます。





#### スパン(スパンU、スパンL)

それぞれの演算に対応したスパンを設定します (上図を参照)。スパン L とスパン U を同じ値に設定したり、設定範囲外の値を入力したときは、データチェック時に修正されます。

#### スケール (スケール L、スケール U、小数点)

スケーリングまたは開平演算の場合、スケーリング後の下限値および上限値を入力します。小数点の位置は、小数点以下の桁数 (0、1、2、3、または 4) で設定します。スケール L とスケール U を同じ値に設定したり、設定範囲外の値を入力したときは、データチェック時に修正されます。

#### 単位

単位の欄をクリックすると、文字列を入力できるようになります。6 文字以内で単位を 入力します。

# アラーム

チャネルごとに4つのアラーム(アラーム1~アラーム4)を設定できます。

#### 種類

アラームの種類を、[H]、[L]、[h]、[l]、[R]、[r]、[T]、または[t] から選択します。[h]、[l] は差演算を設定したチャネルのみで選択できます。アラームを使用しないときは[OFF] を設定します。

#### アラーム値

設定した値を境にアラームを発生します。アラーム値の設定範囲は、入力の種類やレンジなどによって異なります。

#### アラームディレイ

アラーム種類が [T]、または [t] のとき、設定が有効になります。測定値がアラーム設定値以上または以下になっている状態が、設定した時間 (ディレイ時間) 継続するとアラームを発生します。

#### リレー

リレー出力をするときは、出力リレー番号を選択します。リレー出力をしないときは、 [NONE] を選択します。

# フィルタ/移動平均

移動平均を設定できるのは、DX106P、DX112P、DX210P、DX220P、DX230Pです。 入力フィルタを設定できるのは、DX102P、DX104P、DX204P、DX208Pです。

#### 入力フィルタ

使用するときは、時定数 (2s、5s、10s) を選択します。

### 移動平均

使用するときは、サンプリング回数 (2~16) を選択します。

# タグ

16 文字まで入力できます。チャネル番号の替わりにタグ名を設定して、画面に表示できます。画面にチャネル番号を表示するか、タグ名を表示するかは、[システムモード]画面で設定します。

#### ゾーン

各チャネルの波形を表示範囲内のどの範囲に表示するかを設定できます。下限値および 上限値とも、表示スケール上の位置 (%) を設定します。ゾーンの設定条件は以下のとお りです。

· 設定範囲:0%~100% 下限値<上限値

・ 下限値と上限値の差:5以上

**2-8** IM 04L41B01-65JA

# グラフ

#### 分割数

スケールの分割数を選択します。

#### バーグラフ

バーグラフの基準位置を選択します。バーグラフが縦表示のときは、[中央]を選択しても無効です。データチェック時に[標準]に変更されます。

#### スケール

トレンド表示でスケール表示をしているときに、スケールを表示する位置を選択します。 なお、分割数 / バーグラフ / スケールについて詳しくは、DX100P/DX200P 本体マニュアルの 5.12 節をご覧ください。

# 部分圧縮拡大

#### ON/OFF

チャネルごとに、部分圧縮拡大表示機能を使用するか/しないかを設定します。

#### Note.

部分圧縮拡大機能の設定は、[システムモード] タブの [ その他] の [ 部分圧縮拡大機能] が [ 使用] になっているときに有効になります。

#### 位置(%)

部分圧縮拡大表示するときに、境界値 (「境界値」で設定 ) をどこに移動するかを設定します。設定範囲は、1  $\sim$  99%です。

#### 境界値

部分圧縮拡大表示するときの境界値を設定します。設定条件は、測定チャネルと演算チャネルで次のように異なります。

- 測定チャネル SCALE、SQRT を使用していない時:スパン最小値<境界値<スパン最大値 SCALE、SQRT を使用している時:スケール最小値<境界値<スケール最大値</li>
- ・ 演算チャネル スパン最小値<境界値<スパン最大値

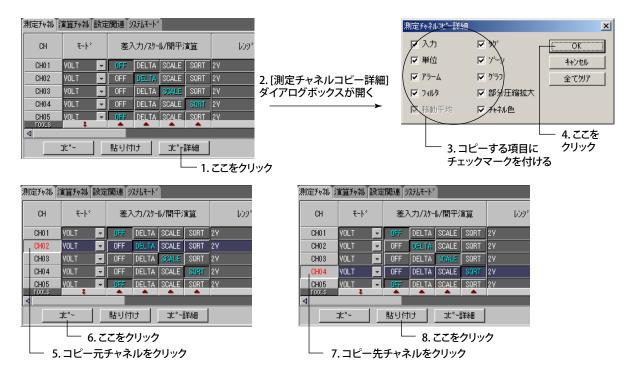
# 表示色

各チャネルの表示色を 16 色から選択できます。表示色の欄をクリックすると、[色指定] のダイアログボックスが表示されます。色を選択して [OK] をクリックします。



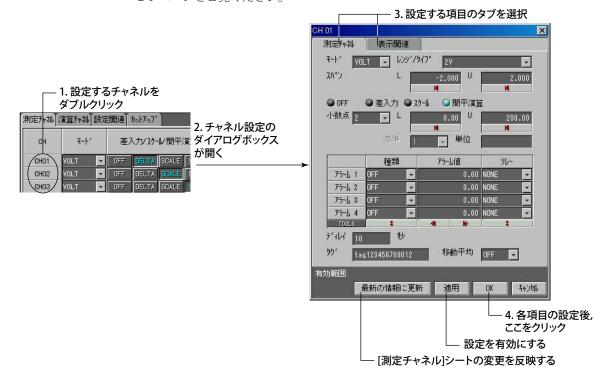
# 設定内容のコピー/貼り付け

あるチャネルの設定内容から、項目を選択して他のチャネルにコピーできます。複数の チャネルをコピー元にするときは、チャネル番号をドラッグして、コピーする範囲を指 定します。同様に、複数のチャネルをコピー先にするときは、その範囲のチャネル番号 をドラッグします。



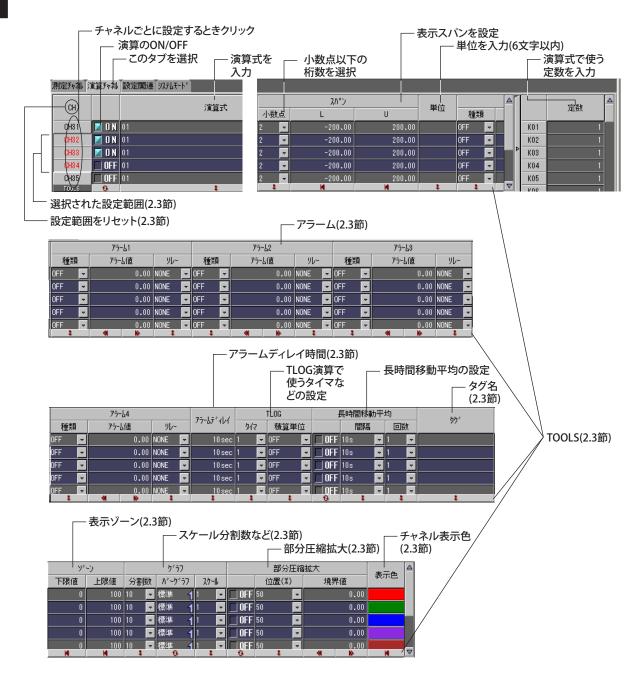
# チャネルごとの設定

測定チャネルタブの各項目をチャネルごとに設定できます。各項目の設定方法は、2-6~2-9ページをご覧ください。



**2-10** IM 04L41B01-65JA

# 2.4 演算チャネルを設定する (オプション、/M1)



# 演算の ON/OFF

各演算チャネルを使用するかしないかを設定します。

# 演算式

40 文字以内で入力します。演算式について詳しくは、DX100P/DX200P 本体マニュアルをご覧ください。

# 定数

演算式で使用する定数を設定できます。定数は 12 個 (DX100P) または 30 個 (DX200P) まで設定できます。定数の範囲は、

- 9.9999E+29 ~- 1.0000E - 30、0、1.0000E - 30 ~ 9.9999E+29です。

# スパン

演算結果の表示スパンを設定します。

設定範囲は、- 9999999 ~ 99999999 です。また、小数点以下の桁数は、4 桁以内です。

# アラーム

演算チャネルに設定できるアラーム種類は、[H]、[L]、[T]、または [t] です。他は測定チャネルの設定方法と同じです。2.3 節をご覧ください。

# タグ

測定チャネルの設定方法と同じです。2.3節をご覧ください。

#### **TLOG**

#### タイマ

セットアップモードで設定したタイマ 1  $\sim$  3 から選択します。選択したタイマに設定されている時

間が、TLOG 演算の演算周期になります。

演算式に TLOG 演算を設定したチャネルで、この設定が有効になります。

#### 積算単位

積算単位を設定します。

演算式に TLOG.SUM を設定したチャネルで、この設定が有効になります。

# 長時間移動平均

# 間隔(インタバル)

長時間移動平均使用時のサンプリング間隔を選択します。

#### 回数(サンプル数)

サンプル数 (移動平均するデータ数)を選択します。

# 表示ゾーン / グラフ / 部分圧縮拡大 / 表示色

測定チャネルの設定方法と同じです。2.3 節をご覧ください。

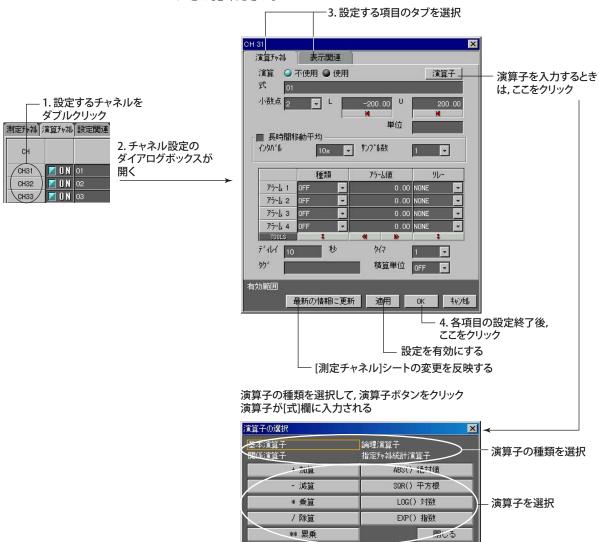
# 設定内容のコピー/貼り付け

あるチャネルの設定内容から、項目を選択して他のチャネルにコピーできます。 操作方法は、2.3 節をご覧ください。

2-12 IM 04L41B01-65JA

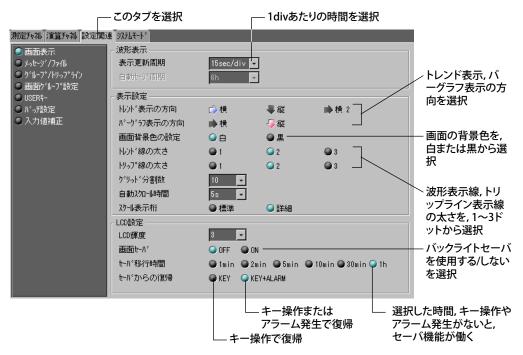
# 演算チャネルごとの設定

演算チャネルタブの各項目をチャネルごとに設定できます。各項目の設定方法は、2-11、2-12ページをご覧ください。



# 2.5 設定関連を設定する

# 画面表示



#### 表示更新周期

[15sec/div]、[30sec/div]、[1min/div]、[2min/div]、[5min/div]、[10min/div]、[15min/div]\*、[20min/div]、[30min/div]、[1h/div]、[2h/div]、[4h/div]、[10h/div] から選択できます。 [15sec/div]、[30sec/div] は、DX102P、DX104P、DX204P、および DX208P のときのみ選択できます。

\* スタイルナンバ S4 以降の DXP の設定データを作成するときのみ選択できます。

### 自動セーブ周期

システムモードタブのメモリサンプルの設定で、データの種類が [DISPLAY] のときに設定できます。選択肢は、[表示更新周期]の設定値によって変わります。ただし、システムモードタブのアプリケーションの設定で、プロセスタイプが [バッチ] のときは、設定可能な最長の時間が自動的に入り、選択不可となります。

#### グリッド分割数

波形表示エリアのスケール方向の分割数を、[オート]または  $[4] \sim [12]$ から選択します。 オート:グループの先頭に割り付けられたチャネルのスケール分割数と同じ分割数になります。

#### 自動スクロール時間

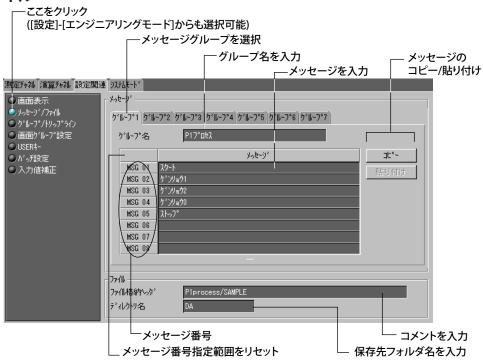
トレンド、ディジタル、またはバーグラフ表示で表示しているグループを自動的に切り替える周期を、[5s]、[10s]、[20s]、[30s]、または [1min] から選択します。

#### LCD 輝度

LCD の輝度を、[1]  $\sim$  [8](DX100P の場合) または [1]  $\sim$  [4](DX200P の場合) から選択します。 数値が大きいほど画面が明るくなります。

**2-14** IM 04L41B01-65JA

# メッセージ/ファイル



### Note\_

グループ 7 のメッセージは、USER キーやリモート制御機能 (オプション、/R1) に割り当てて使用できます。

### グループ名

半角 16 文字まで入力できます。

#### メッセージ

半角 32 文字まで入力できます。

#### ファイル格納ヘッダ

測定/演算データファイルのヘッダ部分に、コメント(半角32文字以下)を追加します。

#### ディレクトリ名

測定/演算データファイルを保存するフォルダ名(半角英数字8文字以下)を設定します。

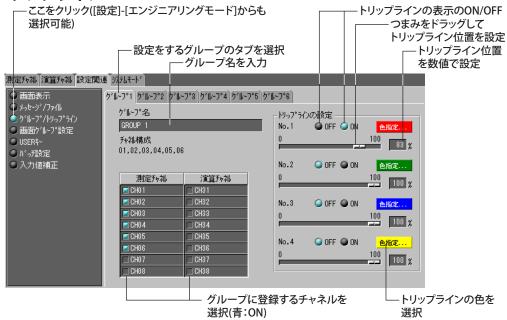
### Note -

- ・ ディレクトリ名に、AUX、CON、PRN、NUL、CLOCK は使用できません。
- ・ ディレクトリ名を指定しないと、DATAO(初期値)が自動的に設定されます。

#### メッセージのコピー/貼り付け

- 1. メッセージ番号をクリックしてコピー元を指定します。コピー元の範囲を指定するときは、メッセージ番号の欄をドラッグ&ドロップします。
- **2.** [コピー]をクリックします。
- **3.** メッセージ番号をクリックして貼り付け先を指定します。貼り付け先の範囲を指定するときは、メッセージ番号の欄をドラッグ&ドロップします。
- 4. [貼り付け]をクリックします。

# グループ / トリップライン



#### グループ名

半角 16 文字まで入力できます。

#### チャネル構成

各グループに割り付けできる最大チャネル数は、DX100Pでは6チャネル、DX200Pでは10チャネルです。割り付けられたチャネルは、「チャネル構成]欄に一覧表示されます。

#### トリップラインの設定

1 つのグループに 4 つまで設定できます。ここで設定したトリップラインのうち、No.1 と No.2 の設定は、ビューアのトリップラインに反映されます。

# 画面グループ設定 (DX200P のみ)

DX200Pの4画面表示の設定です。

#### 画面グループ

画面グループは4つまで登録できます。

#### グループ名

半角 16 文字まで入力できます。設定したグループ名は DX200P の [4 画面 ] 表示のサブメニューとして表示されます。

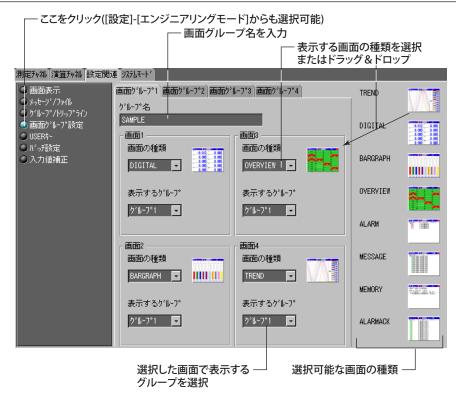
#### 画面の種類

各画面グループは、4つの画面からなります。各画面に何を表示するのかを選択します。

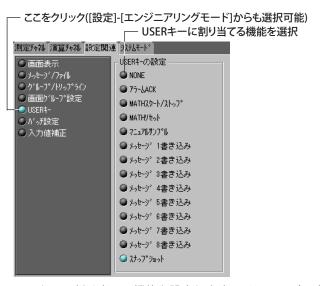
#### 表示するグループ

画面の種類として、トレンド、ディジタル、またはバーグラフを選択したときに、表示するグループを、グループ 1 ~グループ 6 から選択します。

**2-16** IM 04L41B01-65JA

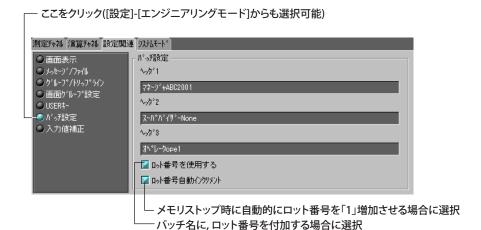


# USER キー



USER キーに割り当てる機能を設定します。メッセージの書き込み機能では、メッセージグループ 7 のメッセージ 1  $\sim$  8 を書き込むことができます。何も割り当てないときは、[NONE] を設定します。

# バッチ設定

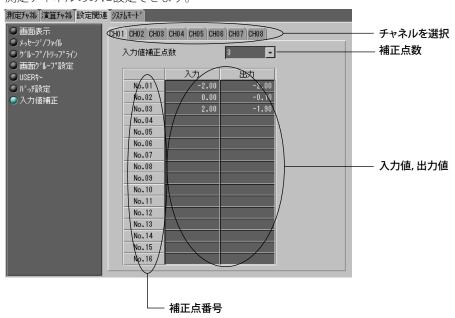


### ヘッダ1~3

データファイルに書き込む文字列 (半角64文字以下)を入力します。

# 入力値補正 (オプション、/CC1)

測定チャネルのみに設定できます。



#### 補正点数

補正点数を、[OFF] または  $[2] \sim [16]$  から選択します。使用しないときは [OFF] を選択します。

### 入力値、出力値の設定可能範囲

スケーリングまたは開平演算を設定したチャネル: $-30000 \sim 30000$ (小数点位置は、そのチャネルの設定による)

それ以外のチャネル:設定したレンジの設定可能範囲

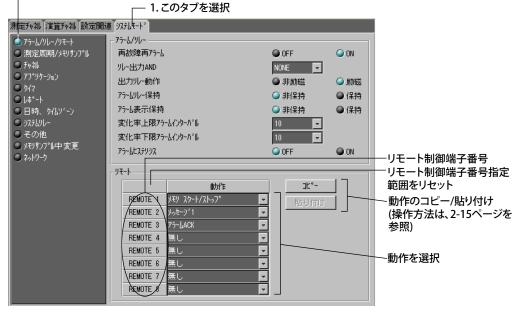
入力値には、ひとつ前の入力値より大きい値を設定します。この条件に合わない設定をした場合、設定保存時、印刷時、または設定データ送信時に、[入力値補正点数]は[OFF]になります。

**2-18** IM 04L41B01-65JA

# 2.6 システムモードを設定する

# アラーム / リレー / リモート

- 2.ここをクリック([設定]-[システムモード]からも選択可能)



#### アラーム / リレー

#### 再故障再アラーム

ひとつのアラーム出力リレーが、複数のアラームの出力先として設定されている場合、 1回目のアラームでリレーが動作したあと、2回目以降のアラームの発生を知らせる 機能です。

#### ・リレー出力 AND

先頭のアラーム出力リレーから、どのリレーまでを AND 動作にするかを設定します。 それ以外のリレーは OR 動作になります。[NONE] を選択すると、すべて OR 動作です。 AND: 設定されているアラームがすべて発生したときに動作します。

OR:設定されているアラームのうち、ひとつでも発生したときに動作します。

### ・出力リレー動作

非励磁:アラームが発生すると、リレーが非励磁になります。 励磁:アラームが発生すると、リレーが励磁されます。

### ・アラームリレー保持

非保持:アラームが解除されると、リレーが OFF になります。

保持:アラームが解除されても、アラーム ACK 操作をするまでリレーを ON に保持します。

#### ・アラーム表示保持

非保持、保持:「アラームリレー保持」をご覧ください。[アラームリレー保持]で[保持]を選択した場合、[アラーム表示保持]は[保持]のみとなります。

#### ・変化率上限 / 下限アラームインターバル

変化率上昇限 / 下降限アラームのために、測定値の変化量をチェックするインターバルを、サンプリング回数 (1  $\sim$  15) で設定します。「インターバル=測定周期  $\times$  サンプリング回数」です。

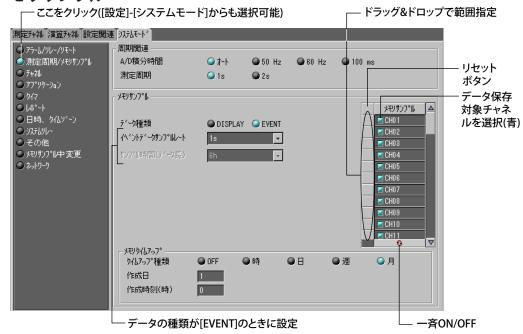
#### ・アラームヒステリシス

アラームを発する設定値と解除する値に、表示スパンの 0.5% の幅を持たせることができます。測定チャネルの上限アラーム (H)、下限アラーム (L) のみに適用されます。

#### リモート(オプション、/RI)

8個のリモート制御端子に動作を割り当てます。リモート制御機能を搭載している場合に有効です。

# 測定周期 / メモリサンプル



#### A/D 積分時間

[100ms] は、測定周期が [2s] のときだけ選択できます。 オート:自動的に [50Hz]、[60Hz] を切り替えます。

#### 測定周期

DX102P、DX104P、DX204P、DX208P: 125ms、250ms DX106P、DX112P、DX210P、DX220P、DX230P: 1s、2s

# メモリサンプル (測定/演算データの保存方式)

#### データ種類

イベントデータを選択したときは、イベントデータサンプルレートとサンプル時間を設定します。サンプル時間の選択肢は、サンプルレートの設定値により変わります。ただし、システムモードタブのアプリケーションの設定 (2-22 ページ参照) で、プロセスタイプが [バッチ] のときは、設定可能な最長の時間が自動的に入り、選択不可となります。

# ・メモリサンプル

データ保存対象チャネルを選択します。範囲を指定して一斉に選択 / 非選択する場合は、次のように操作します。

- 7. 範囲指定の欄をドラッグ&ドロップして範囲を指定します(この操作をしない場合は、全チャネルを指定したこととになります)。また、リセットボタンを押すと、指定範囲をリセットできます。
- **2.** 一斉 ON/OFF ボタンをクリックするたびに、指定範囲のチャネルの選択 / 非選択が切り替わります。

2-20 IM 04L41B01-65JA

#### メモリタイムアップ

内部メモリの表示データ / イベントデータを外部記憶メディアに保存する日時を指定します。

#### ・タイムアップ種類

データを保存する時間間隔を選択します。この機能を使用しない場合は [OFF] を選択します。

時:1時間ごと、日:1日ごと、週:1週間ごと、月:1か月ごと

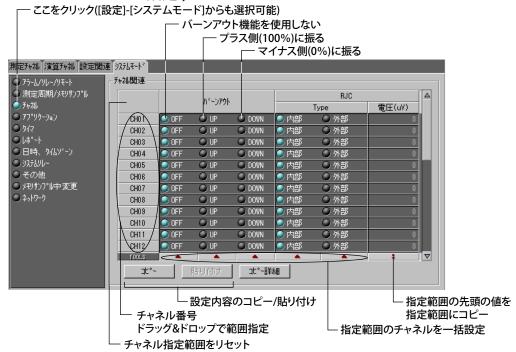
#### ・作成日または作成曜日

日付 (1~28) または曜日 (日、月、火、水、木、金、土) を入力します。

#### • 作成時刻 (時)

時刻 (00~23) を入力します。

# チャネル (バーンアウトと RJC の設定)



### バーンアウト

熱電対 (TC) 入力で、熱電対が断線したときの測定結果の取り扱い方法を選択します。

#### RJC Type/ 電圧 (uV)

内部: DXP の基準接点補償機能を使用します。

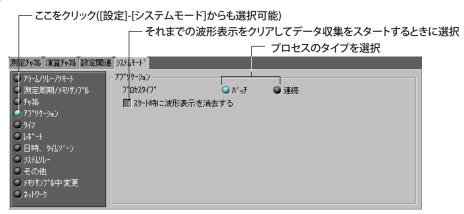
外部:外部の基準接点補償機能を使用します。

電圧 (uV):基準接点補償を [外部] にしたときに、補償値 (  $-20,000\sim20,000~\mu~V$ ) を入力します。

# 設定内容のコピー/貼り付け

[コピー詳細] でチェックした項目を、コピー/貼り付けできます。 コピー/貼り付けの操作方法は、2-15 ページをご覧ください。

# アプリケーション



#### プロセスタイプ

バッチ:バッチ単位でデータファイルにサインできます。

連続:データファイルごとにサインできます。

# タイマ(オプション、/M1)

- ここをクリック([設定]-[システムモード]からも選択可能)



3 つのタイマを設定できます。タイマに設定された時間が経過するごとに、TLOG ファイルにデータを保存したり、TLOG 演算をリセットしたりできます。

#### タイマの種類

2種類のタイマがあります。タイマを使用しない場合は、[未使用]を選択します。

#### ・絶対時刻モード

絶対時間指定:設定した基準時間と時間間隔で決められる時刻にタイムアップします。 時間間隔:[1min]、[2min]、[3min]、[4min]、[5min]、[6min]、[10min]、[12min]、[15min]、 [20min]、[30min]、[1h]、[2h]、[3h]、[4h]、[6h]、[8h]、[12h]、[24h] から選択します。 基準時刻:0~23時を設定します。

#### ・相対時刻モード

相対時間指定:演算開始と同時に計時を開始し、設定した周期でタイムアップします。 周期:1分~24時間の範囲で設定します。

# タイムアップ時のリセット

TLOG 演算を設定したチャネルの演算結果を、タイムアップ時にリセットします。

**2-22** IM 04L41B01-65JA

## タイマのデータセーブ

タイムアップ時に、全チャネルの測定/演算データを内部メモリに書き込み、外部記憶メディアに保存します (TLOG データの保存)。

# レポート(時報/日報/週報/月報の作成、オプション、/M1)

- ここをクリック([設定]-[システムモード]からも選択可能)



#### 種類

作成するレポートの種類を選択します。レポートを作成しないときは、[OFF] を選択します。

# 作成時間

月報の作成日 (1  $\sim$  28) と時刻 (0  $\sim$  23)、日報の作成時刻 (0  $\sim$  23)、週報の作成曜日 (日、月、火、水、木、金、土 ) と時刻 (0  $\sim$  23) を設定します。

#### レポートチャネル

レポートチャネルは、DX100Pでは 12 チャネル、DX200Pでは 30 チャネルです。設定範囲を指定する場合は、次のように操作します。最初のレポートチャネルから最後のレポートチャネルまでドラッグ & ドロップします (この操作をしない場合は、全レポートチャネルを指定したことになります)。また、リセットボタンを押すと、指定範囲をリセットできます。

### 基準単位時間の変換

レポートの積算値を求めるときの積算方法を選択します。

Off: 測定周期で取り込んだ測定値を単純に加算します。

Sec: 測定周期で取り込んだ測定値を、1 秒あたりの積算値に変換して積算します。 Min: 測定周期で取り込んだ測定値を、1 分あたりの積算値に変換して積算します。 Hour: 測定周期で取り込んだ測定値を、1 時間あたりの積算値に変換して積算します。 Day: 測定周期で取り込んだ測定値を、1 日あたりの積算値に変換して積算します。

#### コピー/貼り付け

[コピー詳細] でチェックした項目を、コピー/貼り付けできます。 コピー/貼り付けの操作方法は、2-10ページをご覧ください。

# タイムゾーン / システムリレー / その他の設定

ここをクリック([設定]-[システムモード]からも選択可能)



## 日時、タイムゾーン

#### GMT

グリニッジ標準時との時差を設定します。グリニッジ標準時と日本標準時の時差は9時間です。

#### ・時刻を徐々に修正する限界値

データ収集しているときに、設定した時刻と本機器の時刻との時間差が、±(ここで設定した

値)以内の時刻を指定したときだけ、本機器の時刻が徐々に修正されます。[OFF]、[10s]、[20s]、[30s]、[1min]、[2min]、[3min]、[4min]、または [5min] から選択します。[OFF] を選択すると、データ収集中に時刻変更できません。

## システムリレー(オプション、/F1)

システムリレー 1、2 に割り当てる機能を設定します。

**FAIL**: FAIL 時にリレーが非励磁になります。

メモリエンド:内部メモリの空き容量がメモリアラーム時間分になったとき、または外部記憶メディアの空き容量が全容量の 10% または 6M バイトになったときにリレーが励磁されます。

**バッチスタート/ストップ**:データ収集スタート時に励磁され、ストップ時に非励磁になります。

**ユーザ無効**:ユーザ無効が発生したときにリレーが励磁されます。

**ログイン**:本機器にログイン中\*のユーザがいるときにリレーが励磁されます。

\* キー操作によるログインと、イーサネット通信またはシリアル通信経由のセッティング機能へのログインです。

#### その他

#### ・タグ / チャネル

測定/演算チャネルのチャネル識別文字をタグ名またはチャネル番号から選択します。

### ・メモリアラーム時間

内部メモリの空き容量を監視し、空き容量がなくなる何時間前にメモリエンドリレー出力 (オプション、/F1) するかを選択します。メモリアラーム時間は、[1h]、[2h]、[5h]、[10h]、[20h]、[50h]、または [100h] から選択します。

Off:メモリエンド出力機能を使用しません。

#### ・表示言語

画面表示で使用する言語を選択します。

2-24 IM 04L41B01-65JA

#### ・部分圧縮拡大

部分圧縮拡大機能を [ 使用 ] にしていないときは、測定 / 演算チャネルタブの部分圧縮拡大の設定は無効です。

## ・リモコン ID( オプション、/KB1、/KB2)

リモコン ID を [0] または [1]  $\sim$  [31] の整数で設定します。使用しないときは [OFF] を設定します。

## ・メディア FIFO

記憶メディアの保存領域を循環使用 (FIFO) する場合に [ON] を選択します。

# メモリサンプル中変更

ここをクリック([設定]-[システムモード]からも選択可能)



データ収集しているときに許可する設定変更操作を [ON] にします。

## 時刻設定

時刻を設定できます。

#### ユーザ登録設定

ユーザを登録したり、登録情報を修正できます。

## 入力値補正設定 (オプション、/CC1)

入力値補正の設定を変更できます。

## 入力値補正変更メッセージ (オプション、/CC1)

[入力値補正設定]を [ON] に設定すると選択できます。データ収集中に入力値補正の設定を変更したとき、メッセージ「ニュウリョクチホセイセッテイ」を書き込みます。

# ネットワーク



└ ONにしたときは、タイムアウト時間を入力

#### ・DNS の設定

FTP クライアントでのファイル転送先、または E メール送信での送信先のサーバをホスト名で指定する場合に、DNS の設定が必要です。ホスト名、ドメイン名、ドメインサフィックス: 半角英数字 64 文字以下

# ・キープアライブ

TCP レベルで定期的 (30 秒ごと) に送信される検査パケットに対して応答がなかった場合、そのサーバとの接続を切断する機能です。使用する / しないを選択します。

# ・問い合わせタイムアウト

アプリケーションレベルで、設定時間 (タイムアウト時間) 以上データの送受信がないと、接続を切断する機能です。使用する場合は、タイムアウト時間 (1  $\sim$  120 分) を設定します。

# ・通信入力使用ユーザ

通信入力データ (DX100P:C01  $\sim$  C12、DX200P:C01  $\sim$  C30) を使用するユーザを [Off]、 [Admin1]  $\sim$  [Admin3]、 [User01]  $\sim$  [User30]、 [Serial] から選択します。

Serial:シリアル通信で通信入力データを使用可。Modbus を使用するときは、[Serial] を選択します。

# ・メモリデータ出力先の指定

[イーサネット]を選択します。

**2-26** IM 04L41B01-65JA

## FTP の設定



送先を設定

#### ・FTP ファイル転送先

FTP ファイルの転送先は、2つ(プライマリとセカンダリ)設定できます。

・サーバ名

ホスト名または IP アドレス (半角英数字 64 文字以下)を設定できます。

・ポート番号

1~65535の範囲で設定できます。初期値は[21]です。

・ログイン名、パスワード、アカウント

FTP サーバにアクセスするときの、ログイン名 (半角英数字 32 文字以下)、パスワード半角英数字 32 文字以下)、アカウント (識別するために必要な ID、半角英数字 32 文字以下)) を入力します。

PASV

PASV モードを必要とするファイアウォール内で DXP を使用するときに、[使用]を選択します。

・イニシャルパス

ファイル転送先のディレクトリを、半角英数字 64 文字以下で設定します。

例:/home/data

・メモリデータ作成時に転送

表示データファイル / イベントデータファイルを転送します。また、設定変更したと きの設定ファイルと設定変更ログファイルも転送します。

・レポートタイム完了時に転送

レポートファイルを転送します。

・スナップショット時に転送

画面イメージデータファイルを転送します。

# シリアル通信の設定



### データ長

バイナリ形式でデータを出力する場合は、8ビットを選択してください。

## ・ハンドシェイク方式

RS-232 インタフェースを使用する場合のハンドシェイク方式を選択します。

#### ・RS422A/485 アドレス

RS-422A/458 インタフェースを使用する場合と Modbus プロトコルを使用する場合、DXP のアドレス (1  $\sim$  32) を入力します。

## ・プロトコル

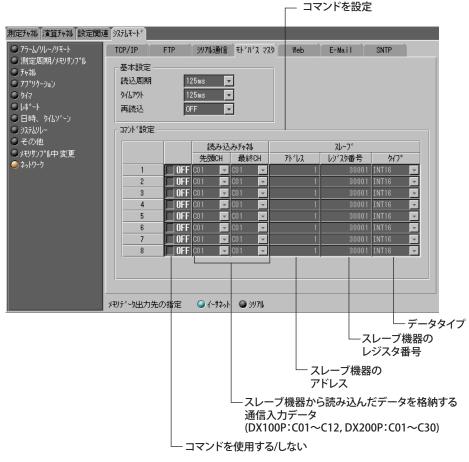
OFF:シリアル通信を使用しない NORMAL:設定/測定サーバ MODBUS: Modbus スレーブ

MODBUS MASTER: Modbus マスタ

BARCODE:バーコード入力

**2-28** IM 04L41B01-65JA

# Modbus マスタの設定



#### ・基本設定

読込周期:スレーブ機器からデータを読み込む周期 (125ms、250ms、500ms、1s、2s、5s、10s) を選択します。

タイムアウト: コマンドを送信してからスレーブ機器からの応答を待つ最大時間を選択します (125ms、250ms、500ms、1s、2s、5s、10s、1min)。

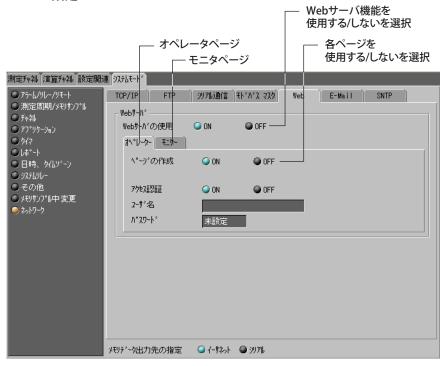
再読込:タイムアウト時間待ってもスレーブ機器から応答がない場合、コマンドを再送信する回数を選択します(Off(0回)、1、2、3、4、5、10、20)。

# ・データタイプ

INT16: 符号付き 16 ビット整数 UINT16: 符号なし 16 ビット整数

INT32\_B: 符号付き 32 ビット整数 (上位 16 ビット、下位 16 ビットの順)
INT32\_L: 符号付き 32 ビット整数 (下位 16 ビット、上位 16 ビットの順)
UINT32\_B: 符号なし 32 ビット整数 (上位 16 ビット、下位 16 ビットの順)
UINT32\_L: 符号なし 32 ビット整数 (下位 16 ビット、上位 16 ビットの順)
FLOAT\_B: 32 ビット浮動小数点型データ (上位 16 ビット、下位 16 ビットの順)
FLOAT\_L: 32 ビット浮動小数点型データ (下位 16 ビット、上位 16 ビットの順)

# Web の設定

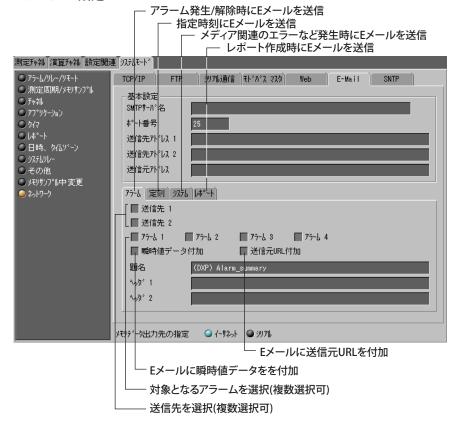


## ・アクセス認証 / ユーザ名 / パスワード

オペレータページまたはモニタページを使用するときに、認証を必要とするかしないかを選択します。アクセス認証を使用するときは、ユーザ名 (半角英数字 20 文字以下)とパスワード (半角英数字 8 文字以下)を入力します。

2-30 IM 04L41B01-65JA

### Eメールの設定



#### ・SMTP サーバ名

ホスト名または IP アドレス (半角英数字 64 文字以下)を入力します。

### ・ポート番号

1~65535の範囲で設定できます。初期値は[25]です。

# ・送信先アドレス

2つのメール送信先グループを設定できます。複数のアドレスを設定する場合は、アドレスとアドレスを半角スペースで区切ります (半角 150 文字以下)。

#### 送信元アドレス

送信元アドレス (半角英数字 64 文字以下)を入力します。省略すると、送信先アドレスに設定された先頭のアドレスを送信元アドレスとします。

#### ・アラーム

アラーム 1 ~アラーム 4:監視対象となるアラームを選択します(複数選択可)。

# ・定刻

インターバル: E メールを送信する時間間隔を、[1h]、[2h]、[3h]、[4h]、[6h]、[8h]、[12h]、 または [24h] から選択します。

基準時刻:0時~23時59分の範囲で入力します。

#### ・題名、ヘッダ1、ヘッダ2

題名:半角32文字以下、ヘッダ1/ヘッダ2:半角64文字以下

#### SNTP の設定



- クライアント機能

#### • 基本設定

# ・SNTP サーバの使用

SNTP サーバ機能を使用するときは [ON] を設定します。ネットワーク上の SNTP クライアントに、本機器が時刻情報を送信します。

#### ・SNTP クライアントの使用

SNTP クライアント機能を使用するときは [ON] を設定します。ネットワーク上の SNTP サーバに、本機器が時刻情報を問い合わせます。

# ・SNTP サーバ名

時刻情報の問い合わせ先を、64 文字以内の英数字で設定します。サーバのホスト名または IP アドレスで設定します。

#### ポート番号

SNTP サーバのポート番号を  $1 \sim 65535$  までの範囲で設定します。

## ・問い合わせ間隔

SNTP サーバに時刻を問い合わせる時間間隔を、[OFF]、[1h]、[8h]、[12h]、または [24h] から選択します。[OFF] を選択すると時刻を問い合わせません。

# • 基準時刻

時刻問い合わせの基準となる時刻です。この時刻を基準に、問い合わせ間隔ごと に時刻を問い合わせます。

00:00~23:59の範囲で時刻を設定します。

# ・タイムアウト時間

SNTP サーバからの応答を待つ時間です。この時間内にサーバからの応答がないときは時刻合わせを行いません。

[10s]、[30s]、または[90s]から選択します。

#### ・SNTP による時刻調整 (メモリスタート時設定)

データ収集スタート時に、SNTP クライアント機能を使用して時刻合わせをするかしないか (ON/OFF) を設定します。

2-32 IM 04L41B01-65JA

# 2.7 設定データの整合をとる(データチェックをする)

# データチェック

1. ここをクリック([構成]-[データチェック])



- 2. 整合がとれていないときは 自動的にデータが修正される
  - または
- 2. 整合がとれていないときは 次のダイアログボックスが開く(下記の説明を参照)



設定した内容が整合しているかを確認します。整合がとれていない場合は、自動的にデータを修正します。

なお、次のような場合にデータを修正します。

- ・測定/演算チャネルタブの各項目の値が設定範囲外のとき
- ・設定できない文字列を使用したとき
- ・入力値補正の値が正しくないとき

# [データの修正]ダイアログボックス

[表示]-[データチェック確認ダイアログ]をチェックしておくと、データチェック時に データの整合がとれていないと、[データの修正]ダイアログボックスが表示されます。

# 2.8 設定データを保存する

# 設定データの保存



#### Note.

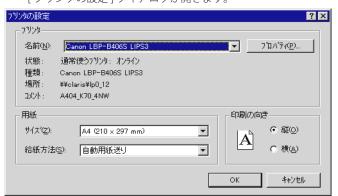
- ・ 保存場所に同じ名前のファイルがあると、設定データは保存できません(上書き禁止)。
- ・ 設定データを保存すると、設定データの編集はできなくなります。さらに編集をする場合には、編集を開始する操作(2.2節の「編集の開始」を参照)を行ってください。

2-34 IM 04L41B01-65JA

# 2.9 設定データを印刷する

# プリンタの設定

**1. [ファイル]-[プリンタの設定]**を選択します。 [プリンタの設定]ダイアログが開きます。



**2.** プリンタ / 用紙 / 印刷の向きを設定します。

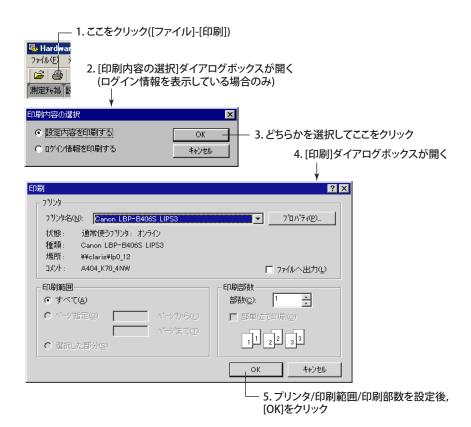
#### Note\_

プリンタの設定はご使用のシステム環境に従って設定してください。

# 印刷プレビュー

印刷する前に印刷のレイアウトを見ることができます。 [ファイル]-[印刷プレビュー]を選択すると、印刷プレビュー画面が表示されます。

# 印刷



# 2.10 使用可能な文字

グループ名や画面グループ名、メッセージ、ファイルヘッダのコメント、ファイルを保存するディレクトリ名を入力する際、次表に記載された文字を使用することができます。

SP	#	%	(	)	*	+	-		/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
Α	В	С	D	E	F	G	Н	I	J
K	L	М	N	0	Р	Q	R	S	Т
U	V	W	Х	Υ	Z				
a	b	С	d	e	f	g	h	i	j
k	I	m	n	0	р	q	r	S	t
u	v	w	х	у	z				
ヲ	7	1	ゥ	I	オ	Þ	1	3	y
ア	1	ウ	エ	才	カ	+	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	7
ナ	=	ヌ	ネ	1	/\	٢	フ	^	ホ
マ	Ξ	4	У	Ŧ	ヤ	ュ	3	ラ	IJ
ル	レ		ワ	ン					
	٨	ıı .	۰	@					

# Note\_

- ・ カタカナは、言語モードが日本語の場合に使用できます。
- 「^」は本体では「°」で扱われます。「°」は設定ソフトでは「^」で扱われます。
- ・ カタカナ「"」、「°」は、以下の文字列には使用できません。

TCP/IP の DNS ホスト名

TCP/IP の DNS ドメイン名

TCP/IP の DNS ドメインサフィックス 1

TCP/IP の DNS ドメインサフィックス 2

FTP ファイル転送のパスワード

カタカナ、「\*」、「+」、「.」、「/」、「"」、「°」、は、ファイルのディレクトリ名に使用できません。

**2-36** IM 04L41801-65JA

# 3.1 DXP との接続について

# 受信時と送信時の注意

# Note.

- ・ スタイルナンバ S4 以降の DXP と接続できます。
- DXP に登録されているシステム管理者のみが、その DXP にログインできます。 DX-P ハードウエア設定ソフトウエアからのログインは、通信機能の設定 / 測定サーバのセッティング機能へのログインと同等です (IM04L05A01-17 を参照)。
- DXP のキー操作によりログインしているユーザがいるとき、または通信経由でセッティング機能にログインしているユーザがいるときは接続できません。
- 通信経由で設定 / 測定サーバ、保守 / 診断サーバ、または FTP サーバにログインしているユーザと、同じユーザ名でログインできません。
- DXP が、ログイン機能を使用しない設定になっている (システム管理者が 1 人も設定されていない) とき、IP アドレスの欄に、IP アドレスまたはホスト名を入力して DXP と接続できます。

# パスワード

# Note -

## デフォルトパスワード

次の場合は、パスワードにデフォルトパスワードを入力します。

- ・ ユーザ登録後、初めて接続する。
- ユーザ無効になりパスワードをデフォルトパスワードに戻したのち、初めて接続する。

ユーザ	デフォルトパスワード
システム管理者 1 ~ 3	「Admin1」「Admin2」「Admin3」
一般ユーザ 01 ~ 30	「User01」「User02」「User03」「User29」「User30」

## ユーザ無効

DXP 側の操作で無効となったユーザは、ログインできません。

## パスワードの有効期限が切れている場合



# Note\_

## 新しいパスワード

- ・ 6文字以上、8文字以下で設定してください。
- スペースは使えません。
- ・ ユーザ ID とパスワードの組み合わせは、過去に使用されたことのある組み合わせは使用できません。

# 3.2 DXP から設定データを受信する

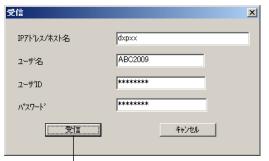
- 1. ここをクリック([通信]-[受信])



→ 2.設定データを編集した場合は、保存確認ダイアログが表示される。

(編集していない場合は、[受信]ダイアログ ボックスが開く)

3. [受信]ダイアログボックスが開く 設定データの保存については、2.8節参照





- 4. IPアドレス、ユーザ名、ユーザID、パスワードを入力
- 5. ここをクリック
  - ・パスワードの有効期限が切れている場合は、3-1ページ参照。 パスワードを変更したあと、受信を開始
- 6. プログレスダイアログが表示される



- ・受信できない場合は、エラーメッセージが表示される
- 7. 「受信が完了しました。」のメッセージが表示され、受信した設定データが 表示される



#### Note.

- 受信した設定データは、編集できます。
- ・ ログイン情報、バッチ・システム設定の内容は表示されません。
- 受信した設定データを元にして、新たな設定データを作成する場合には、2.2 節をご覧ください。

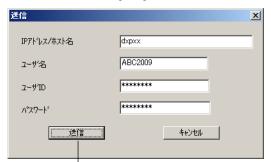
3-2 IM 04L41B01-65JA

# 3.3 DXP に設定データを送信する

- 1. ここをクリック([通信]-[送信])



2. [送信]ダイアログボックスが開く



- 3. IPアドレス、ユーザ名、ユーザID、パスワードを入力
- 4. ここをクリック
  - ・パスワードの有効期限が切れている場合 3-1ページ参照、パスワードを変更したあと送信を開始
- 5. プログレスダイアログが表示される



- 送信できない場合は、エラーメッセージが表示される
- 6. 「送信が完了しました。」のメッセージが表示され、送信時の設定データが表示される



## Note\_

- ・ DXP がデータ収集中または演算中のときは、DXP に設定データを送信できません。
- [ログイン情報]、[バッチ・システム設定]、[IP アドレス指定] の内容は送信されません。
- ・ 次の場合、エラーとなって送信できません。
  - ・ DXP に外部記憶メディアがセットされていない場合
  - ・ 送信する設定データと、DXPのシステム構成が異なる場合
- ・ データ送信中に通信エラーが発生すると、エラーメッセージが表示され、送信時のメイン 画面に戻ります。送信操作から始めてください。送信途中の内容は、DXP には反映されま せん。

# 各種メッセージと対処方法 4.1

使用中に画面にメッセージが表示されることがあります。以下、その内容と対処方法を 説明します。

# エラーリスト

コード	メッセージ	対処方法 / 説明
E7001	読み込めないファイルです。	別のファイルを選択してください。
E7002	ファイルの読み込みに失敗しました。	再度、実行しても読み込めない場合は、ファイルが損傷し
		ている可能性があります。別のファイルを選択してくださ
		() <sub>0</sub>
E7003	ファイルの作成に失敗しました。	ディレクトリ容量を確認してください。
E7004	既にログインしているユーザがいます。	以下の原因が考えられます。ログイン状況を確認してくだ
2,00.	7,500	さい。
		・既に同じユーザ名で、設定/測定サーバ、保守/診断サー
		バ、または FTP サーバにログインしている。
		・設定 / 測定サーバのセッティング機能には、既にログイ
		ンしているユーザがいる。
		<ul><li>・本体キーにより既にログインしているユーザがいる。</li></ul>
		・シリアル通信経由でセッティング機能にログインしてい
	ロナロ ゲ ハ・マナナル	るユーザがいる。
E7005	現在ログインできません。	以下の原因が考えられます。確認してください。
		・ユーザ無効になった。
		・ユーザ名、ユーザ ID、パスワードが正しくない。
		・指定ユーザが通信経由でログインできない。
E7006	ログインのパスワードが間違っています。	パスワードが正しいか確認してください。
E7007	システム管理者の権限がありません。	システム管理者でログインしてください。
E7008	これ以上コネクションできません。	最大同時接続数を超えています。他の接続を切断してから
		接続してください。
E7009	通信エラーです。	<ul><li>・ローカルネットワーク接続を確認してください。</li></ul>
		・接続する DXP との IP アドレス、またはホスト名が一致し
		ているかどうか確認してください。
E7010	本体のスタイルナンバーが S4 未満の為、受信できま	「S4」以降の本体を使ってください。
	せん。	
E7011	パスワードが有効でないか、既に使われたパスワー	再度、別のパスワードを入力してください。
	ドです。	
E7012	メモリサンプル中です。設定できません。	本体の内部メモリへの書き込みが終了してから送信してく
		ださい。
E7013	演算中です。設定できません。	演算が終了してから送信してください。
E7014	メモリサンプル&演算中です。設定できません。	本体の内部メモリへの書き込みと演算が終了してから送信
		してください。
E7015	DXP のシステム構成が違います。	設定情報と本体のシステム構成が一致していることを確認
		してください。
E7016	メディアにエラーを検出したので、中断しました。	記憶メディアを確認してください。
E7017	メディアの空き容量が不足しています。	記憶メディアを取り替えてください。
E7018	メディアが書き込み禁止になっています。	書き込み可にしてください。
E7019	メディアが挿入されていません。	記憶メディアを挿入してください。
E7020	メディアが壊れているかフォーマットされていませ	記憶メディアを交換またはフォーマットしてください。
	$h_{\circ}$	
E7021	 送信エラーです。	再度、送信してください。
E7022	受信エラーです。	再度、受信してください。
E7023	登録されていないユーザです。	入力したシステム管理者のユーザ名、ユーザID、パスワー
		ドの正確性を確認してください。
E7024	3 回失敗したので、処理を終了します。	再度、「情報 -> ログイン情報」メインを選択して、システ
_, 02 1		ム管理者の情報を入力してください。
E7025	3 回失敗したので、ユーザを無効とします。	他のシステム管理者で認証してください。
E7026	接続された機器は未対応機器です。	接続した機器が DX100P/DX200P ではありません。
E0250	Adobe Reader の起動に失敗しました。	取扱説明書の有無と Adobe Acrobat がインストールされて
LUZJU	AUDDE NEGUET VIEWEINE 人以 しょし/こ。	収放説明書の有無こ Adobe Acrobat かインストールされているか、確認してください。
		∪ ~るル、 準正心 ∪ ← \ / ∟ ⊂ ∪ ′。

4-1 IM 04L41B01-65JA

# 4.1 各種メッセージと対処方法

# ワーニングリスト

コード	メッセージ	対処方法 / 説明
W7051	New File への変更を保存しますか?	設定情報が変更されて、まだ保存されていません。保存す
		るか、どうかを確認してください。
W7052	ファイルは既に保存しています。	別のファイル名をつけてください。
W7053	システム設定が変更されました。入力構成及び、デー	システム構成を変更するかどうかを確認してください。
	タが初期化されますがよろしいですか?	
W7054	現在の設定を初期化します。	現在の設定を初期化するかどうかを確認してください。
W7055	データの編集を行いますか?	データの編集を行うかどうかを確認してください。

# メッセージリスト

コード	メッセージ
M7071	2038 年以降のデータは取り扱うことができません。
M7072	壊れている AD が存在します。設定できない項目が存在します。
M7073	受信が完了しました。
M7074	送信が完了しました。

4-2 IM 04L41B01-65JA

# 索引

Α
A/D 積分時間2-20
D
DAQSTANDARD の概要1-1
DAQSTANDARD を構成するソフトウエア1-1
DX-P ハードウエア設定ソフトウエア1-1
DX-P ハードウエア設定ソフトウエアの起動2-1 DXP との接続3-1
<u>E</u>
<u>-</u> Eメールの設定2-31
F
<b>上</b> FTP の設定2-27
G 224
GMT2-24
M
Modbus マスタの設定2-29
R
RJC 2-21
S
SNTP の設定2-32
т
<u>T</u> TLOG2-12
U
USER +2-17
W
Web の設定2-30
ア
<b>ア</b> プリケーション2-22
アラーム2-8.2-19
アラーム値2-8 アラームディレイ2-8
アラームディレイ2-8
アラーム表示保持2-19
1
位置(%)2-9
移動平均2-8
印刷2-35
印刷プレビュー2-35
<u> </u>
演算式2-11
演算チャネルでとの設定2-13
演算の ON/OFF2-11

<u>オ</u>	
 オペレーティングシステム	1-4
<u>カ</u>	
回数	
改版の履歴	
画面グループ設定 画面の種類	
回面の性状	
<u>+</u>	
毎年年世時間の复数	
<u> </u>	
グラフ	2-9
グループ	2-16
グループ名	2-16
ケ	
月報	
_	
<u> </u>	
コピー	2-10
<u>サ</u>	
差演算	2-7
シ	
<u>・</u> システム構成	
システムリレー	7-74
自動スクロール時間	
自動ログアウト	
時報	
週報	
種類	2-8
使用可能な文字	2-36
小数点	
シリアル通信の設定	2-28
ス	
スケール	2-8
スパン	2-7,2-12
セ	
積算単位	2-12
設定関連	2-14
設定データの確認	2-2
設定データの送受信	
設定データを受信する	3-2
設定データを送信する	3-3
ソ	
測定周期	2-20
バスと	i

<u>9</u>	
タイムゾーン2-2	24
チ	
チャネル (バーンアウトと RJC の設定 )2-2	
チャネルごとの設定2-	10
テ	
<b>ブ</b> データの管理方法1	-2
_	
<del></del> 日報2-2-	<u> </u>
入力値補正	
入力値補正設定2-2-2	
入力値補正変更メッセージ2-2	25
<b>ネ</b> ネットワーク2-2	_
ネットワーク2-2	26
/\	
バーグラフ	_0
ハードウエア (動作環境)1	ر _4
パスワード	-r -1
バッチシステム設定2	- I
バッチ設定2-´	ر- 10
バック 改足	
2- אנו עווער	10
<u>L</u>	_
表示言語2-2	
表示色2	-9
<u>フ</u>	
ファイル2-	15
ファイル	
ファイル情報の確認2	
部分圧縮拡大2-9,2-2	
のカスト	
/J гухх	)
^	_
編集の開始2	-5
<b>√</b>	
<b>^</b> メッセージ2-	
メディア FIFO2-2 メモリサンプル2-2	2D
メモリサンプルー	∠U > ⊑
メモリケンフル中変更2-2 メモリタイムアップ2-2	
グモリダイムアップ	<u> </u>
<u> </u>	
モード	<u> </u>
	,
<u> </u>	_
ユーザ登録設定2-2	25
ユーザ無効1	-3
IJ	
	_
リモート2-	
リモコン ID2-2-2	
リレー2-8,2-7 リレー出力 AND	

<u>レ</u>	
レポート	2-23
レポートチャネル	2-23
レンジ	2-7
П	
ログアウト時画面変更	2-4
ログイン情報	2-3

索 -2 IM 04L41B01-65JA